



第1回AITカーボンニュートラル地域貢献セミナー

## 地域社会における 取り組み状況と未来に向けて

愛知工業大学は、セミナーを通じてカーボンニュートラルの実現に向けて何をすべきなのかを皆様と一緒に考え、行動し、地域社会の明るい未来へとつなげていきます。

定員 各50名  
参加無料  
オンラインのみ

「1回のみ参加」  
「複数回の参加」  
先着順によりどちらも可能です

1  
11.2 (木)  
15:00-16:30  
申込期限 10/26(木)

**再生エネルギー発電活用のために一電力システムの視点から**  
太陽光発電や風力発電は脱炭素を目指す電源として活用が期待されています。一方、電力システムの視点からは、これら発電は在来型電源と特性が大きく異なるため、その大量導入のためには技術課題もあります。本講演では、太陽光発電や風力発電の基礎について述べた後、それらを有効に活用するための課題について考察します。



愛知工業大学  
工学部電気学科教授  
七原 俊也

2  
11.9 (木)  
15:00-16:30  
申込期限 11/2(木)

**社会基盤整備とカーボンニュートラル**  
社会基盤施設を整備する際に、大量の金属材料とコンクリートが使用され、多くの資源とエネルギーが消費されることにより、大量の炭酸ガスと産業廃棄物が排出されました。この問題を解決するために、コンクリートの製造に廃棄物を有効に利用し、さらに、構造物の長寿命化によって、ライフサイクルCO2排出量を低減させます。



愛知工業大学  
工学部土木工学科  
特命教授  
吳 承寧

3  
11.30 (木)  
15:00-16:30  
申込期限 11/23(木)

**ZEB・ZEHとカーボンニュートラルの関係及びデマンドレスポンスについて**  
ZEB、ZEHもその件数の増加と共に、見聞する機会も増えていきます。しかし、本来の意味が確実に浸透しているとは言えないと考えられるため、カーボンニュートラルとの関連性も含めて説明します。また、再生可能エネルギー普及に欠かせないデマンドレスポンスの考え方についても示します。



愛知工業大学  
工学部建築学科教授  
河路 友也

4  
12.7 (木)  
15:00-16:30  
申込期限 11/30(木)

**CO2低減に向けたカーボンニュートラル燃料の活用**  
我々の生活において燃料は必要不可欠のものです。ほぼすべての燃料はC（カーボン）を含有していることから使用時のCO2発生を避けることができません。そこで、実質的なCO2排出量を増加させないCO2吸収技術の開発が進められています。昨今話題の水素にも触れながらC（カーボン）循環型社会の形成についてお話しします。



愛知工業大学  
工学部機械学科教授  
西島 義明

お申込み  
お問合せ

WEBフォームにてお申込みください

<https://req.qubo.jp/aitech/form/chiikikouken>



【主催】愛知工業大学 ゼロカーボン推進室 [zero-carbon@aitech.ac.jp](mailto:zero-carbon@aitech.ac.jp)